



JST科学技術振興機構

共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）

平成6年度【地域共創分野（育成型）】採択プロジェクト

農村と都市との豊かな結びつきを育む 「いわて畜産テリトリー」創造拠点

令和7年1月22日

国立大学法人 岩手大学

1. 地域概要と課題の深掘り



◆ 岩手県北部 6 市町村の概要

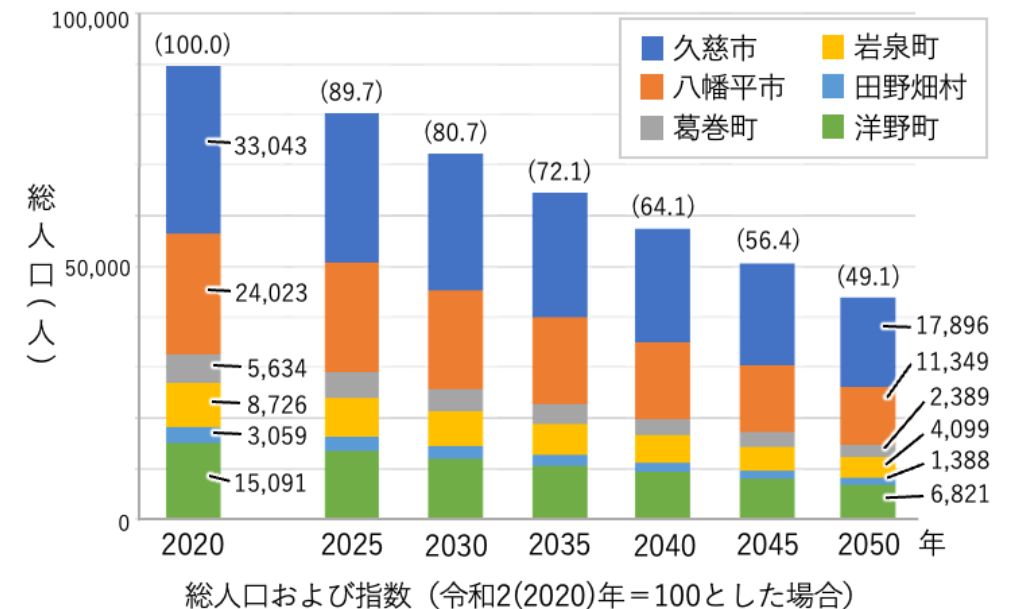
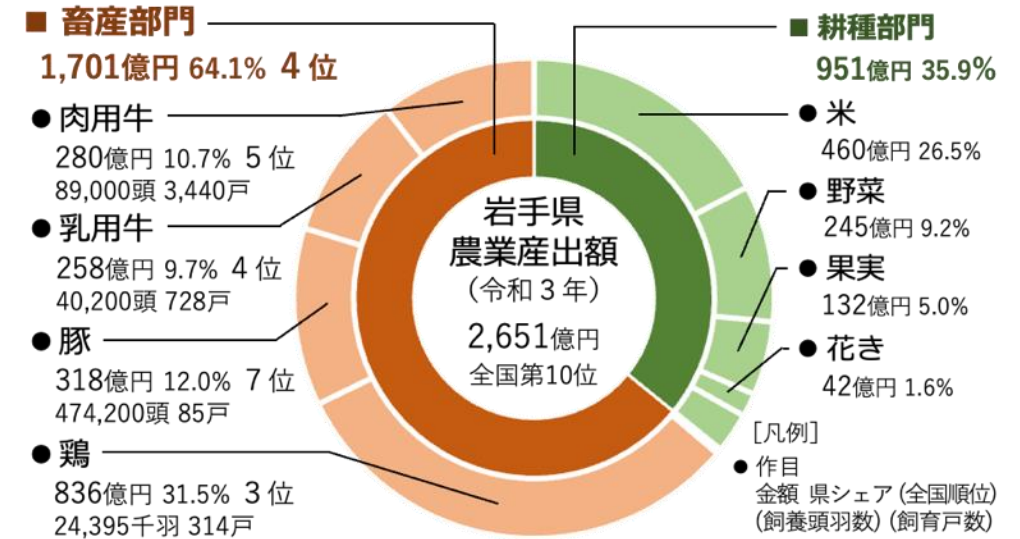
- ・ 岩手県は国内有数の畜産県
- ・ 畜産は、地域の歴史・文化・くらしに密接に関連(南部牛、塩の道、南部牛追い唄等)、地域固有の日本短角種
- ・ 急傾斜地等の条件不利地域が多く、少子高齢化や人口減少が顕著

◆ 直面する課題

- ・ 気候変動等による生産環境の悪化
- ・ 国際紛争や為替変動の影響による飼料等の価格高騰
- ・ 小規模の畜産経営が多く、獣医療体制等の生産基盤が脆弱



- 基幹産業である畜産業の産地縮小
- 地域社会の存続の危機





◆ 課題の深掘り

- 産業振興のみの取組では不十分
- 高コスト労働集約型、外部依存の経営
- 地元の生産者・住民の活動では限定的

逆転の強み
を生かす



- 資源循環型畜産への転換
- 内外の多様なリソースの取り込み
- 畜産業の新たな価値の創出

- ◆ 多様な生産環境
- ◆ 豊富な飼料資源



- 大小様々な形態の畜産経営体の育成・支援
- 飼料自給率の向上
- 若者が魅力を感じ、就業しやすい環境

- 農村と都市の人々との繋がり
の深化
- 新規事業の創出、
雇用の確保
- 交流人口の拡大、
地域コミュニティ活性化

- ◆ 畜産の多機能性
(食料生産、生物
環境・景観の保全、
教育等)



◆ 参画機関との共有状況（応募前まで）

- 岩手県を含む7地方自治体、農業団体及び企業等と延べ19回の会議を実施
→ 本プロジェクトを基盤として、畜産業を核とする地域連携・地域発展を目指す
- 岩手県内の産学官金のトップによる円卓会議「いわて未来づくり機構」の下に「分野間連携による農林水産業振興作業部会」（座長：岩手大学 水野理事）を設置、ビジョンを協議・共有

2.農村のなりわいを守り、都市との豊かな結びつきを育む「いわて畜産テリトリーオ」の実現

◆プロジェクト基本項目

□ 地域拠点ビジョン

農村のなりわいを守り、
都市との豊かな結びつきを育む
「いわて畜産テリトリーオ」の実現
対象地域：岩手県北部6市町村

□ ターゲット

- 1 持続可能で魅力ある畜産をつくる
- 2 誰でも畜産に携われる基盤をつくる
- 3 農村と都市の多様な繋がりをつくる

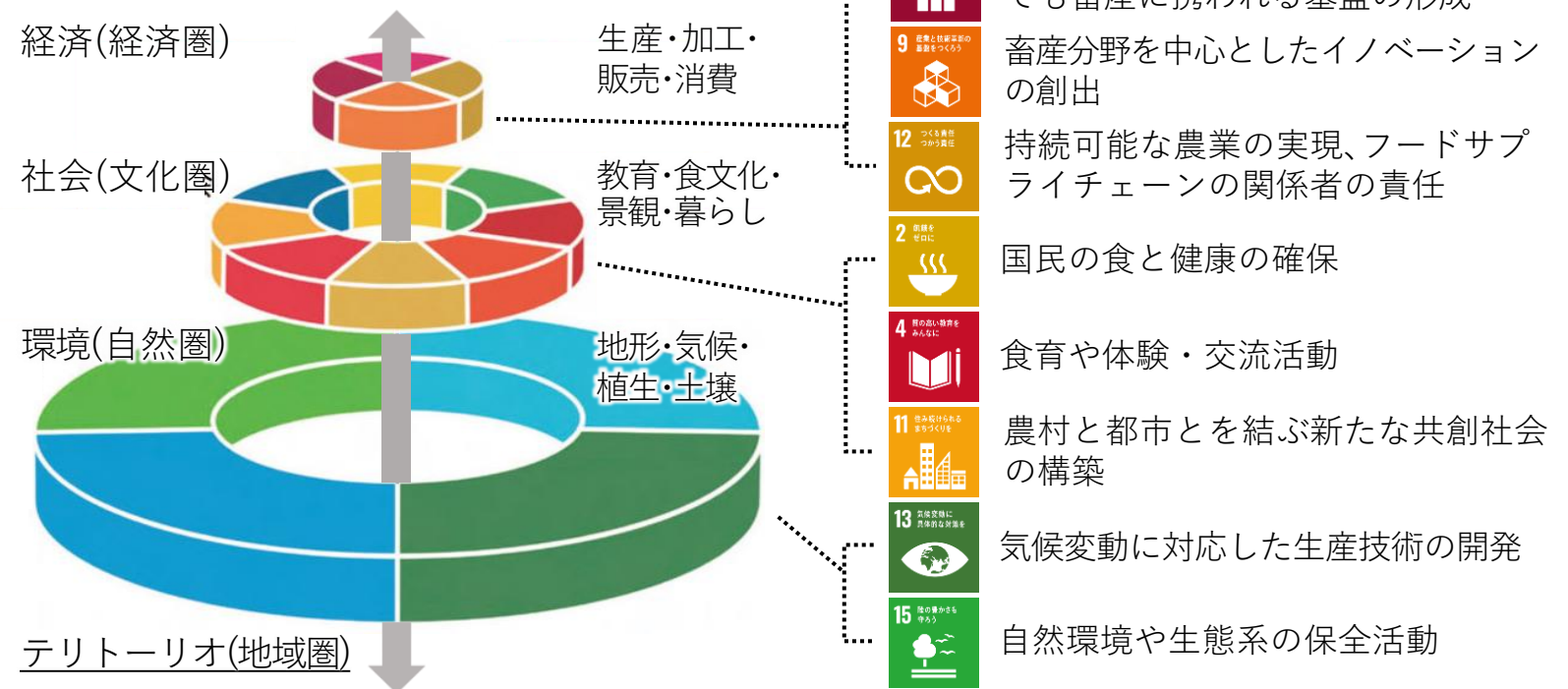
□ 研究開発課題

- 1 循環型飼料生産流通システムの構築
- 2 多様な経営形態に適応可能な家畜飼養システムの構築
- 3 先端通信技術による次世代獣医療体制の構築
- 4 地域資源の活用による共創型地域圏の構築

◆「テリトリーオ」とは

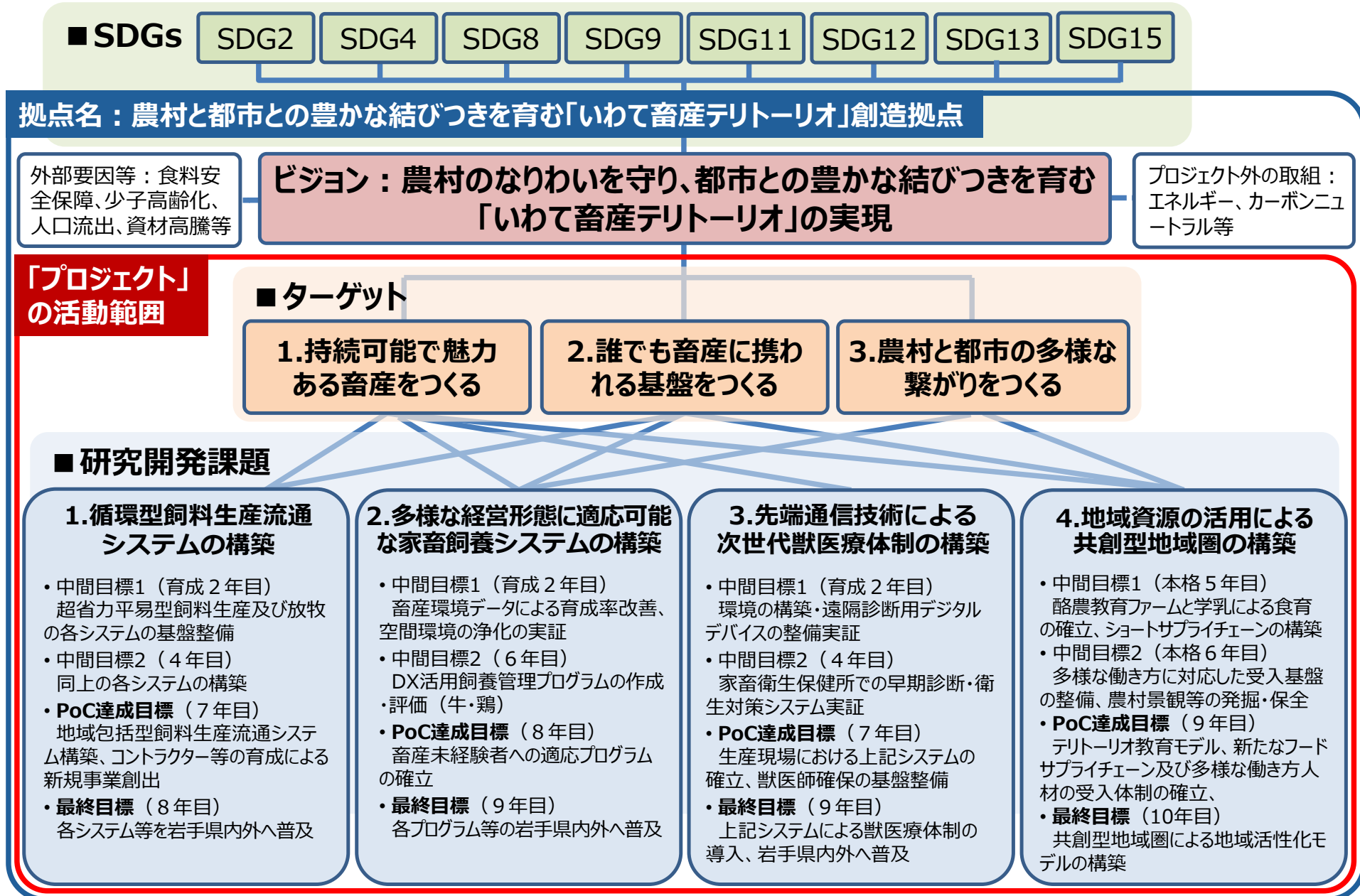
- ・「テリトリーオ(地域圏)」とは、行政区を超えて、共通の社会経済的、文化的なアイデンティティを持ち、生産・加工・販売・消費が行われる都市・集落・農村の総体を表す
- ・畜産を中心に、様々なステークホルダーによる価値共創を通じて「テリトリーオ」を意識的に形成する点に独自性があり、我が国初の取組
(歴史的に地域アイデンティティとしての「テリトリーオ」を形成してきたイタリアと異なる)

◆SDGsと「いわて畜産テリトリーオ」



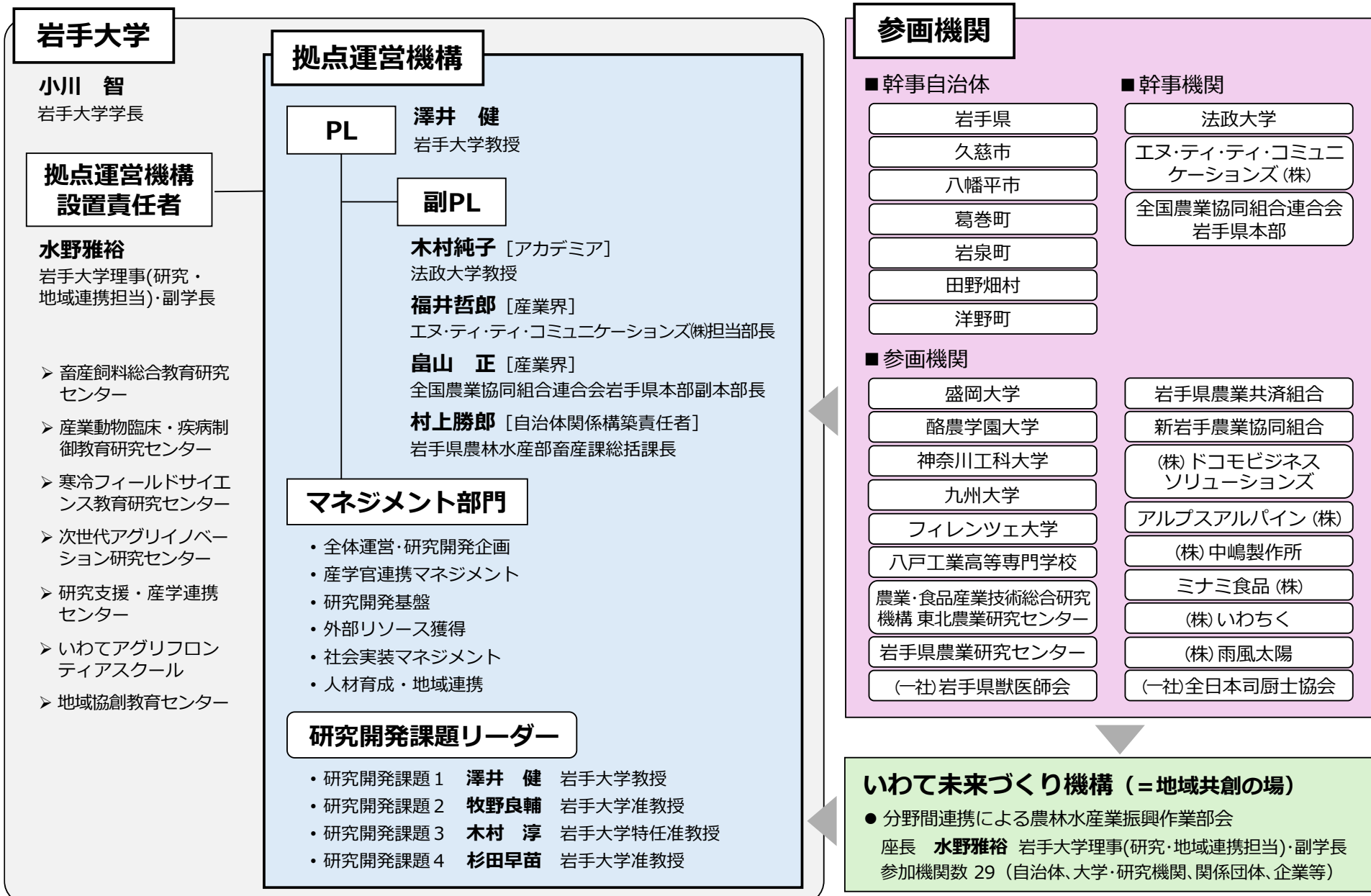
3. 地域拠点ビジョン・ターゲット

5



◆ 見通し・展望

- 畜産学を基盤として、AI・IoT、ロボット及び5G通信等の最先端技術、社会科学などの多様な知を集め、分野横断的なイノベーション創出を推進
- 国内外の参画機関との緊密な連携のもと、豊富な研究蓄積と多様なネットワークを生かす
- 直面する課題から着手し、的確なマネジメントを講じながら、主要な技術の開発や実証モデルの構築、本格型期間の5年目を目途に社会実装のフェーズに移行



◆ リーダーシップの発揮と総合知の創出

- 岩手大学の支援機能を集中させ、PL及び副PLがリーダーシップを発揮できる環境を整備
- 総合知の創出や国際研究、ダイバーシティを重視し、畜産学、獣医学、地域計画学、工学、経営学及び経済学等における広範な分野の21名の研究者（うち女性7名、若手9名）を招集
- 「地域共創の場」に「いわて未来づくり機構」の作業部会を位置づけ

- 畜産を”なりわい”
- 条件不利地域、人口減少
- 気候変動、資材価格高騰等の影響

● 畜産業の産地縮小と農村コミュニティの存続の危機

課題



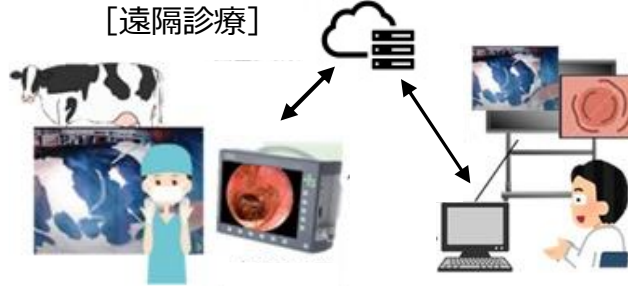
[岩手県]

展開方向

- 畜産学、AI・IoT・ロボット等の最先端技術、社会科学等の多様な知の結集
- 分野横断的なイノベーション創出

- ✓ 畜産を核とした地域活性化モデル
- ✓ 教育・研究・普及の機能を持つ産学官共創拠点

[遠隔診療]



- 獣医師不在地域のサポート体制
- 5G等の先端通信技術

ターゲット1
**持続可能で
魅力ある畜産
をつくる**

- 多様な環境に対応した畜産経営
- 気候変動に適応した飼料生産流通＝畜産エコシステム
- 新たな放牧システム（短角種牛等）
- 飼料から食卓までのフードバリューチェーン

[資源循環型畜産]



ターゲット2
**誰でも畜産に
携われる基盤
をつくる**

- 新しい働き方への対応（マルチワーク等）
- 畜産未経験者でも容易に就業できるシステム
- AI・IoT・ロボット活用＝畜産DX

ターゲット3
**農村と都市の
多様な繋がり
をつくる**

- 関係人口の拡大、農村コミュニティの活性化
- 畜産の多機能性による価値創造（ツーリズム・景観・教育）
- 農村と都市の共創社会モデル

地域拠点ビジョン
**農村のなりわいを守り、
都市との豊かな結びつきを育む**

**いわて畜産
テリトリーオ***

※ 「テリトリーオ」（地域圏）とは、共通する社会経済的、文化的なアイデンティティをもつ都市・集落・農村の総体を表す

[ドローン放牧管理]



[地域産品]



[食育・体験]

